

報告第三七九號

海員組合第十四回年次大會前後に於ける
海友俱樂部門司支部並に同洞海湾支部の動靜

海員組合第十四回年次大會前後に於ける

海友俱樂部門司支部並に同洞海湾支部の動靜

日本海友俱樂部員を多數擁する北九州港灣地帯に於ては、同俱樂部門司支部長杉山善太郎（新日本海員組合門司支部長）を中心として、昨年七月以來海員組合革正運動の果敢なる闘争を地方的に展開したのであつたが、更に内紛解決後の新幹部制に對する俱樂部の再戦闘争聲明と共に、從來の抗争に一層の拍車を加へ、俱樂部本部との連絡の下に、組合内部の紊亂騒ぎと最高幹部の排撃を叫んで、自派勢力の擴大に努め、展兩派の抗争を現出して海上戦線多事なりとの感を深からしむるのであつて、今回の海員組合年次大會前後に於ける門司支部並洞海湾支部の各在港船員大會の概況を擧ぐれば左の通りである。

一、洞海湾在港船員大會